

ふくろう新聞

< 発行 >
 特別養護老人ホームの郷
 淡路 広報委員会
 洲本市中川原町
 中川原28番地1
 TEL: 0799-25-8550
 FAX: 0799-25-8551
 ホームページ
<http://www.normanet.ne.jp/~hyoufuku/>

「福は内、鬼は外」2月3日、ふくろ
 うの郷は職員も入居者も「福創り」の節
 分を楽しみました。
 旧中川原中学校も新しい「福創り」の
 拠点として再出発です。みなさん一緒に
 育ててゆきましょう。



いよいよ旧中川原中学校改修工事着工へ

中川原中学校閉校後の1階部分への「中川原ふれあいセンター構想」の整備に向けて、約1年間をかけて法人内部、また連合町内会とも協議、準備を進めてきました。

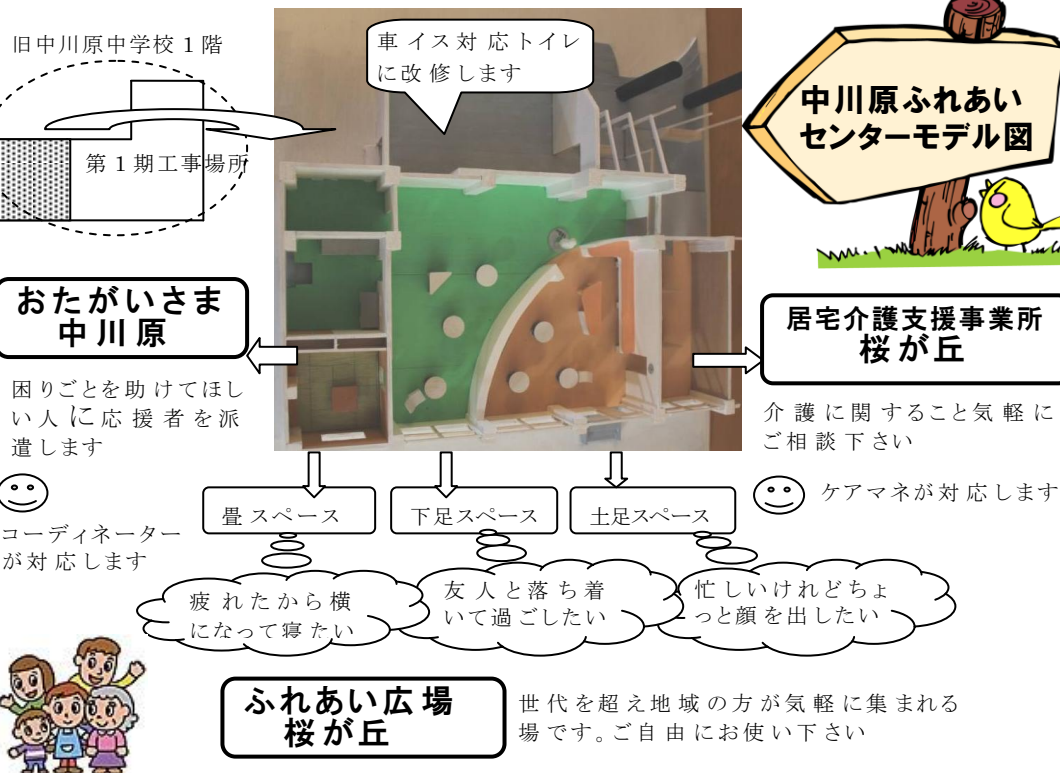
同校舎が東日本大震災被災者の受入れ先候補となったため、当初予定よりも利用開始が遅れていましたが、昨年11月には避難所指定が解除となり、洲本市より整備に向けての準備を始めてもらってもかまわないとの内諾を得ることができました。

ふれあいセンター、交流広場開所に向けて

人では当面センター構想の一部である「おたがいさま中川原」「ふれあい広場桜ヶ丘」「居宅介護支援事業所桜ヶ丘」の各事業を今春には開始できるように、洲本市、町内会関係者とも協議を進めてきました。とりわけ、「おたがいさま中川原」については、地元主体の事業となるように町内会役員、民生児童委員、老人クラブ代表、各地区女性代表も入っていたので、1回の綿密な打ち合わせを積み重ねてきました。

いよいよ今春開所に向けて「ふれあい広場桜ヶ丘」の設置に伴う改修工事に急ピッチでかかっています。

(事務長 八木勝光)



好評につき、毎月開催中！ おたがいさまおためし事業



1月22日は今までと趣向を変え参加者と一緒
 昼食つくりに参加しました。
 秋田の家庭料理「だまっ
 こ鍋」と「みかん大福」をお
 しゃべりを楽しみながら手
 作り。慣れた手つきで下ご
 しらえをされ、あれよあれ
 よという間に完成。みんな
 でおいしくいただきましたが、
 早くも「次は何を作る？」
 と気持ちは2月の試行事
 業へ。

食事を楽しんだ後は恒
 例のゆるーファイブでゆっ
 くり温まり帰宅。好評につ
 き、次回2月22も昼食作
 りと温泉ツアー企画中で
 す。ぜひご参加ください。
 (ふれあいセンター準備室長
 濱田)



▲新入居者の半田さん



▲得意顔の志田さん

さらに福を創ってゆきたい

「福は内、鬼は外」2月3日、ふくろうの郷は職員も入居者も節分を楽しみました。昼食の巻き寿司作りでは、身体が思うように動かない方には職員が援助を行い、盲ろう者には通訳者の援助も借り、力を合わせ恵方巻きを完成させて行きました。



▲鬼になりきる竹邊さん

恵方巻きと豆まき



▲ポーズを決めてくれた鬼役の中村さん



▲盲ろう者の芝田さん(左)



▲伊藤さんの部屋に乱入

とんど焼き

1月15日の朝、冷え込む中をふくろう農園で、天側に松の枝を差した1本の太い竹を立てて、そこに今年飾った門松、しめ飾り、書き初めて書いた紙を持ち寄りしました。



また、昼食後に行われた豆まきでは鬼の面を首から掛け、豆まきを楽しみました。部屋で過ごされて入居者も突然の鬼の乱入に久しぶりの笑顔。私たちはその笑顔が見たいのです。今年もさらに元気で幸せをたくさん創って行きたいです。(生活援助・神代)

無病息災、家内安全(施設内安全)を願いながら入居者と職員が一緒になって天まで届くよう焼きました。特に書き初めの紙を焼いた時は、”字が上達できるよう”竹の棒で挟んで、炎と共に空高く持ち上げました。

入居者からは、「来年は餅を焼いて食べたい」「焼き芋を焼きたい」との意見がありました。前日から準備をしていた地城交流会の皆様、ありがとうございました。(生活援助・三谷)

兵庫手話通訳問題研究会創立30周年記念集会

兵通研は「聴覚障害者の暮らしや手話について考え、話し合い活動する団体」で全通研の第17番目の支部として設立されました。これまでも阪神淡路大震災の通訳活動、聴覚障害者の差別撤廃運動等様々な活動を行い、現在会員数は五五〇名余り、全国でも5番目の大きな支部に成長しています。1月22日に記念講演会、

記念祝賀会が神戸で開催され、兵庫県障害者支援課長をはじめろう協、手話関係者等一二〇名余りの方がお祝いにつけました。当法人からも朝倉事務局長が出席、「ふくろうの郷建設では、5億円募金達成のため、社団、県サ連と共に頑張っていたきました。これからも更なる飛躍にむけ、強力なパートナーとして連携してがんばりましょう！」と乾杯の音頭をとりました。

30年の歩みやいきいきとした独自の地域班活動の報告があり、今後40周年50周年記念へと続く更なる飛躍を誓い合うなど、実りある祝賀会となりました。(総務・辻)



ふくろうの郷出前講座 ひとりひとりの人生を読み解く



▲自慢の飛行機を前に高田周さん(右)

精込め作った飛行機を10体持ち込まれて説明。参加者はその精巧な作りに驚いていました。

竹辺さん、黒崎さんと次々に人生を語り、また会場からも発言等が相次ぎ、予定時間を大幅に越えてしまうほど盛況となりました。

参加者は、今まで聴覚障害者差別については、ある程度分かっていると思っていたが、直接凄まじい話を聞いて言葉にならない感動を覚えた。まだまだ理解が浅いものであることが分かった。

また、淡路ふくろうの郷に入居している人が自分たちの身近にいたことを長い

出前講座今後の予定

- 2/14 手話サークル若葉 (長田勤労センター)
- 2/25 宝塚ろうあ協会 (宝塚ぶらざこむ)
- 3/4 三田耳の日の集い (三田市 総合福祉保健センター)



2月4日開催
灘区聴力障害者福祉協会
(灘区情報センターにて)

淡路ふくろうの郷 開所5周年記念誌

頒価 **2,000円**

ホームページで感想文掲載中!
「淡路ふくろうの郷」等で検索して下さいね。

間知らなかった、ふくろうの郷だけでは足りない：神戸にもふくろうの郷が必要との思いを交わし合いました。今後もこういう講座を継続してほしいとの感想が寄せられました。
(総務・辻)

5周年記念誌 感想文

戦前戦後のろう者の差別の中でたくましく生きてこられた事に感激しました。全てが豊かになったといわれる現在、福祉にも力を入れて取り組まれています。ふくろうの郷のような暖かい場所はないように思います。
ご苦労の程が伝わって来て、山口にもこのような施設が出るのを望みます。
渡辺 礼子 (山口県)

2012年度介護報酬改定について

1月25日に、2012年度介護報酬単価が諮問されました。特に特別養護老人ホーム等の施設関係は全てマイナス改定という厳しい改定となりました。

唯一、新設された認知行動・心理症状緊急対応加算や入所者の重度化への対応を評価するとして増額された加算は、ふくろうの郷では年間20数万円のみの増額です。

施設系はマイナス改定 ふくろうの郷200万円減

昨年、厚生労働省が特別養護老人ホームの経営実態調査で一兆八千億円の内留保があると発表しました。

しかし、ふくろうの郷では巨額な借入金をかかえているなど債務の実態は明らかにされず、資産だけがとりざたされるのは問題です。

今回の介護報酬改定により犠牲をおしつけられるのは、特別養護老人ホームの現場職員と入居者であるのは明白です。

今改定に一喜一憂することなく、改定による入居者の生活や運営の変化などを分析し、関係団体との情報交換をはかりながら、改善に向けて現場からの発信につとめたいです。

(法人事務局 中村)

続・地域を語る

第38回

春のお彼岸について

無量山・大照寺住職

本間克伯

春の訪れと共に 寒さに閉ざされていた大自然も、陽光に包まれ生命の息吹きをとりもどします。それと同様に、来る年来る年の彼岸の訪れは、閉ざされていた人間の心、忘れかけていた仏の心を想起す大切な心の週間であります。

お墓参り、お寺の法要に参加して先祖を思い今ここに有る自分自身の「いのち」を思い、感謝と報恩の心を感じ取りもどす七日間の短い修行の期間、そして彼岸と云うすばらしい国へ歩きます時です。

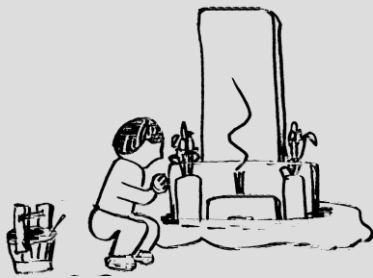
彼岸とは、波羅蜜多と云うインドの言葉で、理想社会、私達が思い描く極楽浄土と云う意になります。

多くの人に親しまれている般若心経のお題目「摩訶般若波羅蜜多心経」は、摩訶とは大いなる、般若とは真実の知恵、波羅蜜多とは彼

岸と訳すことができます。つまり『大きな智慧によりすばらしい社会(極楽浄土)を作る心のお経』と云うことになりす。

特に心経の終りに「ギャティギャティ ハラ ギャティ ハラ ソウギャティ ボウジソワカ」と云う真言で締めくくられていますが、この解釈は「行こう行こうこの世に仏の国を作るために行こう」と彼岸への道を示しているのであります。

春の彼岸、秋の彼岸もこの週間は菩提心の種蒔であり自分自身の生き方を再確認する仏教週間であります。合掌



半年に一度のお楽しみ 作業給料日



毎日作業を頑張っている人はもちろん、思いがけず給料がもらえる!と笑顔の入居者もおられました。みなさん、すごく誇らしげなお顔です。

ふくろう喫茶とカクテルバーのお知らせ

バー開催日時: 3月1日(木) 13:30~16:30

カクテル各種 1杯 ¥300

◆ ふくろう喫茶&バーでふくろうの郷の入所者さんと一緒に、楽しい時間を過ごしませんか。

喫茶開催日時: 3月18日(日) 13:30~15:00

コーヒー・紅茶・ココア・カルピスなど 1杯 ¥200より



第16回ふくろう学習会のお知らせ

日時: 3月24日(土) 15:30~17:00

場所: 淡路ふくろうの郷

テーマ: 「神戸市内における新規事業の意義と課題」(仮)

講師: 仲井 正氏

(社)ひょうご聴覚障害者福祉事業協会理事 他神戸市のみなさん

みなさまのご参加をお待ちしております

「一人ひとりが輝く」-大矢施設長編集企画-

わたくしたちのまわりに「ひとりぼっちのろう者」はいないだろうか…。

本書『一人ひとりが輝く』は、孤立・隔離・分離され、棄民化、淘汰されかけてきたなかまたちの「尊厳と人権・自由・民主主義」を土台とした拠点づくりの、苦難とロマンの物語です。

わたしたちの拠点づくりは、新しい地域共同体の再生にもつながるでしょう。



2・11発売 価格 1,575円(税込)

(財)全日本ろうあ連盟 出版局

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 130 SKビル8階

TEL.03-3268-8847 FAX.03-3267-3445

http://jfd.shop-pro.jp/